

## 先進地の分析／小金井市（全国1位）

## 1. 小金井市の処理施設の条件や背景

小金井市は会津若松市と同様に、単独の焼却処理施設や最終処分場がありません。そのため、**近隣の複数の施設**にごみ処理を依頼しているため、**市民の皆さまに強くごみの減量をお願いしている**現状があります。

## 【人口と世帯の比較】

令和3年1月1日現在	小金井市（東京都）	会津若松市
人口	123,828人	118,159人
世帯	61,909世帯	50,365世帯

## 【排出量等と経費の比較】

令和元年度	小金井市（東京都）	会津若松市
1人1日当たりの排出量	605グラム（1位）	1,143グラム（228位）
リサイクル率	51.3%（2位）	13.8%（177位）
ごみ・資源物の総排出量	27,269トン	55,113トン
ごみ・資源物処理経費の総額	28億2,458万6千円	16億4,765万4千円
市民1人当たりのごみ処理経費	23,101円	13,751円
1世帯当たりのごみ処理経費	46,262円	32,798円

※順位は、全国の人口10万人以上50万人未満の市町村238団体より

## 2. 小金井市のごみの収集ルールの特徴

小金井市では、**個別収集と有料化を実施しています**。また、硬質プラスチック（バケツなど）の資源化を行っており資源化品目が多いことが特徴です。そのほか小・中学校に生ごみ処理容器を設置し、市民もここに入れることができ、ひとつの品目に対して排出先が数多く存在することも挙げられます。

※個別収集とは…一戸建ての場合は、道路に面した建物の敷地内の収集しやすい場所に出します。

## 小金井市の収集区分

燃やすごみ（指定有料袋使用）		個別回収	古紙・布
燃やさないごみ（指定有料袋使用）			びん
プラスチックごみ（指定有料袋使用）			スプレー缶
有害ごみ			空き缶 金属
粗大ごみ（有料の処理券使用）			ペットボトル
		資源物 拠点回収	乾燥生ごみ
			剪定枝
			ペットボトル
			トレイ
			紙パック
			乾燥生ごみ
			ペットボトルキャップ
		くつ・かばん類	
		難再生古紙	

## 一戸建てにお住まいの方

道路に面した建物敷地内の収集しやすい場所に出してください。

(例)



処分手数料（利用者負担）の比較

団体名	収集区分	種別	金額	備考
小金井市	市収集	家庭系可燃	80円/50ℓ袋	≒10円/kg
	処理場持込	家庭系可燃	42円/kg	
		事業系可燃	42円/kg	R元まで55円

(参考比較例)

会津地方広域圏	処理場持込	事業系可燃	8円/kg	
本市の民間処理場	処理施設持込	生ごみ(リサイクル)	14円/kg	

**3. 小金井市の減量施策**

小金井市は平成18年に**ごみ非常事態を宣言**し、ごみの減量化に向けた意識啓発に力を入れるとともに、様々な施策を実施することにより、ごみの減量化を進めています。

小金井市における令和元年度の施策一覧

(1) 啓発施策

①市報「ごみ減量・リサイクル特集」	②ごみ減量キャンペーンの実施
③ごみ減量啓発アニメーションDVD・冊子を活用した啓発活動	
④小学校へのごみ減量・リサイクル啓発施策	⑤ごみ・リサイクルカレンダーの発行
⑥ごみ処理施設市民見学会	⑦スマートフォン用ごみ分別アプリの配信

(2) 生ごみ減量施策

①家庭用生ごみ減量化処理機器購入費補助制度
②事業用生ごみ減量化処理機器購入費補助制度
③大型生ごみ減量化処理機器購入費補助制度
④生ごみの堆肥化事業      ⑤有機性資源の循環システム構築

(3) 枝木・雑草類・落ち葉の分別排出・資源化施策

(4) くつ・かばん類の拠点回収

**4. 検証結果として**

ごみの有料品目と無料品目を上手に組み合わせ、減量に向け市民の行動を誘導しており、さらに個別収集により資源化物(無料)の品質を「置き置き」の手法により市民への指導が可能となっています。また、リサイクルの種類、排出方法が多く、市民の利便性を高めていることもその一つと考えられます。

半面、「処理経費」は非常に高くなっています。

(排出先と有料化の特徴的な組み合わせ例)

生ごみ(家庭)

【濡れている】

(有料)

可燃ごみとして回収

【水分絞る】

(無料)

小中学校の生ごみ投入リサイクルボックスに出せる。  
(日時指定)

【乾燥】

(無料)

資源物として回収

※乾燥機の補助あり